

HADANO MEISUI

ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 今井茂文 幹 事 大津俊彦 会報委員長 柳川清紀



ロータリーの未来はあなたの手に

2009年～2010年度国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

第1143回例会 2009年8月27日(木)(晴)

司 会 古谷スミ子副幹事

点 鐘 今井茂文会長

合 唱 「手に手つないで」「四つのテスト」

ビジター紹介 佐野友保第7グループガバナー補佐(秦野中) 小泉順一君 宮野龍介君(秦野)

内 容 9:45 京急線・横須賀中央駅集合
(10:00出発)

11:15～猿島 開会式

11:30～清掃活動開始

13:00～懇親会開始

14:15～閉会式

※参加希望者は申し出てください。

会長報告

○ 本日はガバナー公式訪問に向けて佐野友保第7グループガバナー補佐をお迎えし、クラブ協議会を行います。時間を延長して行います。

○ 昨日、電気協会で大雄山において研究会が開催されました。その中の法話で“地獄と極楽”の話がありました。地獄絵で地獄の人々はやせてギスギスです。それは6尺(1.8m)の長い箸で自分で食べるので、上手に食べられないからです。しかし極楽の人々は同じ長さの箸でもお互い相手に食べさせてあげるので、栄養が行き届いているということだそうです。

○ ガバナー事務所より

① ロータリーの友について

編集業務が若干変わるようです。

② 財団・増進委員会からのお願い

「わかりやすい財団リーフレット」作成

③ 「ローターアクトの日」活動参加のお願い

期 日 9月13日(日) 小雨決行

場 所 猿島

登録料 3,000円

幹事報告

[週報受理] 大磯

[本日の配布物] わかりやすい財団リーフレット ロータリーの友

スマイル報告

○ 佐野友保第7グループガバナー補佐(秦野中)「本日はガバナー公式訪問のため、クラブ協議会に伺いました。よろしくお願いします」

○ 小泉順一君(秦野)「しばらくぶりにお世話になりました」

○ 今井茂文君「佐野ガバナー補佐の訪問、ありがとうございます。次々回の公式訪問についてよろしくご指導をお願いします」

○ 大津俊彦君「ガバナー補佐、ようこそ！今日はよろしくお願いします」

○ 高橋幸雄君「佐野ガバナー補佐、ようこそいらっしゃいました。ご指導をよろしくお願いいたします」

会員数	37名
出席数	30名
出席率	81.08%
前々回の修正	休会

メイクアップ	[事前] 高橋(秀)(地区)
--------	----------------

本日のプログラム	9月3日 ○ クラブフォーラム 会長・幹事 ○ 理事会
----------	--------------------------------------

次週のプログラム	9月10日 ○ ガバナー公式訪問 ○ クラブ協議会
----------	---------------------------------

- 古谷スミ子さん 「過ごしやすい季節がもうすぐですが、新型インフルエンザに気をつけましょう」
- 淵脇美代子さん 「先週は思いがけず創業記念、主人の誕生祝い、ありがとうございました。“花よりだんご”アイスクリームをととてもおいしく頂きました。スマイルします」
- 関野慶治君 「佐野ガバナー補佐、本日はお手柔らかに」
- 原 郁夫君 「佐野ガバナー補佐、ご苦労さまでし！本日はよろしくをお願いします」
- 大屋富茂君 ①「佐野ガバナー補佐、よろしくお願いたします」 ②「本日、パスト会長会、よろしくご出席ください」
- 三留文雄君 「佐野ガバナー補佐、暑い中ご苦労様です」
- 諸星常平君 「スマイルします」
- 河野治男君 「手に手つないで、スマイル！！」
- 桐山晃忠君 「朝夕涼しい風が吹き込む時期となりました。“こおろぎ”も恋を求め鳴き叫んでいます。今日は大山阿夫利神社の大祭ですね。秋なんですねー」
- 田中宏一郎君 「スマイルします。芝さくらに肥料をやった所、雑草にも栄養が届いたみたいです。土曜日8時半、ご協力下さいね。本日もよろしくお願いします」
- 諸星道治君 「ガバナー補佐、ようこそおいで下さいました。今日はよろしくお願いします」
- 加藤一也君 「スマイルします」
- 北村まり子さん 「ガバナー補佐、暑い中、ご苦労様です。お世話になります」
- 瀬戸 誠君 「先週は家族サービスで休みをもらいました。加藤さん、ありがとうございます」
- 相原 宏君 「早退します」

合計 46,000 円

委員会報告

- プログラム委員会 児玉秀夫委員長
- 9月の例会予定について
- 9／3(木) クラブフォーラム 会長・幹事
理事会
- 9／10(木) ガバナー公式訪問
- 9／17(木) 家族親睦バス旅行
- 9／24(木) 卓話 柳川君

「公式訪問に向けて」

佐野友保ガバナー補佐



公式訪問に向けて7月13日に伊勢原中央に出席、先週の火曜日、秦野RCの公式訪問がありました。今年度のガバナーは秦野中RCから初めてのガバナーです。79歳と少し高齢ですが、とても元気です。日本には34名のガバナーがいらっしゃいますが、上から3番目の年齢です。奥津ガバナーは米山奨学に対して大変ベテランです。公式訪問の時にRIの行事、事業、地区からのお願いについてのお話があると思います。

第7グループで一番会員数が多いクラブは秦野RCです。かつては秦野中RCが82名と一番でしたが、現在58名と、60名を割ってしまいました。景気の低迷で増強がなかなかうまくいきません。

ロータリーは1905年、シカゴで設立しました。その時の社会的情景と今は、よく似ているといわれています。先週の卓話で高橋秀樹さんが職業奉仕についてお話しされていますが、ロータリーは職業奉仕から始まりました。アメリカの産業が大変な時(1905年)、相互扶助的な事から4人の仲間が集い、設立したのです。

日本の米山梅吉氏は三井に勤務、アメリカでロータリーに入会、日本に帰ってきてロータリーを広めた方です。日本商工会議所第一代会頭、渋沢栄一氏の本の「論語とそばん」の中で、役に立たない人間は淘汰されてしまう。仕事も同じだ、と言っています。

儲けるという字は信じる者と書きます。神社仏閣に行ってお賽銭を出してお参りをしますが、信じているから出すのだと思います。自分がお願いするのであり、神社仏閣からは何の要求もありません。儲けは信頼されて儲かるのです。商人は正直が大事であると渋沢栄一は言っています。

アメリカの自動車会社はアメリカンドリームでした。お客様がいて、働く人がいるから経営者がいるのです。

昨日の新聞にフランスの大統領が「金融機関の賞与が高すぎる。国民の税金を投入して生きながらえたのに、少し儲かったからと役員に賞与を出すのはいかなるものか」と怒っているという記事がありました。まさにこれが今の世の中の矛盾していることではないでしょうか。“自分さえよければよい”と言う事です。今の世の中は良い方向に向いていないと思います。だからこそロータリーの四つのテ

ストが必要だと思います。

私は34年前、秦野中RCが創立した時に30歳で入会、創立会員です。秦野RCは昭和35年に創立され、唯一の創立会員は藤野 誠さんです。次に古郡さん、宇山さん、内藤さんの順で、私は秦野RCにいれば、5番目に古い人間になります。竹内ガバナーは私より後で入会、奥津ガバナーは私と一緒にです。秦野RC、伊勢原RC、秦野中RC、伊勢原中央RC、秦野中RC、伊勢原平成RCと、現在第7グループには6のクラブがあります。

ロータリークラブには5つの奉仕があります。クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、職業奉仕、青少年奉仕(新世代奉仕)です。あすの世界を担うという事で、青少年奉仕を最重視していました。国際奉仕と重なっている米山記念奨学会があります。

秦野RCは昭和37年に秦野にボーイスカウトを設立させ、私は先生(隊長)に入団を薦められ、最初から活動していました。30歳になった時に秦野中ができるので入会しなさい、という事で入会しました。ロータリーとボーイスカウトは共通していることが多くあります。ボーイスカウトは1907年、イギリスに設立、当時は産業革命の時で大変な時代でした。お金を与えれば良い、物を与えれば良いということでは良くありません。健全な事は仕事があるという事です。日本が発展途上国にお金を支援していますが、お金は消えてしまうので良くないと思います。

ボーイスカウトでも、“みんなのためになるかどうか”、奉仕、サービスが一番、と言っています。人間はみんなのためになるかどうかと生まれてきたのだと思います。警察は悪い人を正すために。人は人のために生まれて、人が喜ぶこと、笑う事がうれしいのです。

天台宗の中でも、「人のために生きなさい」と言っています。これらがロータリーの原点なのです。1905年、ポールハリスが人間関係・信頼を深め、お互いに助け合ったのです。ロータリーが設立以来、第一次世界大戦、その後の世界恐慌、第二次世界大戦、そして現在の金融恐慌の大きな時代がありました。ロータリーでも現在の会員の減少、財団の利回りの失敗と、今は大変な時です。世界のロータリアンは120万人を割っています。日本を見ても10万人を切ってしまいました。しかしこういう時こそロータリーが必要なのです。その中での職業倫理(奉仕)です。そんなに難しく考えることはなく、青少年奉仕では大人がしっかり見本を見せる事です。社会人がしっかり仕事をする事です。企業の倒産も同じことでしっかりしなかったからなのです。日興証券の社長が「社員が悪いのではありません。私が悪かったのです」と言ったとき、自分の非を認めた事は日本の経営者にはあまりいなかったと思いました。人に責任を押し付けることが多かったような気がします。

私の家は1905年に祖父が20歳で薬屋を開業。私は3代目です。私の父は私に何も教えてくれませんでした。大学を卒業して2カ月くらい一緒に仕事をしましたが、その後すべてを私に引き継ぎました。「お前の好きなように」

と言い、また、日曜日に休もうと思ったら、「病気に休みはあるのか」と言い、私は今まで年中無休、お正月もお店を開けています。「患者さんあつての商売」商売はお客様の立場に立って行う事を教えてくれたのだと思います。

夜中の電話で起こされ、薬を用意してお店を開けた事も多々ありました。これはお客様との信頼関係を深めました。

お客様の目から離れてはいけないという事を教えてくれたのだと思います。

ロータリーの「四つのテスト」が見本です。ロータリーの中で信用をなくすということは、社会に出てもダメだという事です。与えられたことができない人は皆に認められません。

ロータリーは「自分を知らしめる場」だと思います。

クラブ協議会

◎ガバナー公式訪問に向けて



司会 今井茂文会長

○ 意見発表

- 1、河野治男職業奉仕委員長
- 2、田中浩一郎社会奉仕委員長
- 3、山口光弘新世代奉仕委員長
- 4、原 郁夫国際奉仕委員長
- 5、高橋幸雄君

※それぞれ質問に対して、佐野ガバナー補佐よりアドバイスがありました。

□■ 芝桜の草取り参加者(8/29) ■□



MEMO

[illegible]